北海道白樺高等養護学校

学校運営協議会だより

～ 第 1 号 ～
令和８年６月23日（火）
北海道白樺高等養護学校
学校運営協議会事務局



本校の学校運営協議会は、８名の委員のうち、今年度２名の入れ替えがありました。これまでも、地域と連携しながら歩んできましたが、新メンバーと共に、新たな気持ちで学校運営協議会を進めて参ります。

学校運営協議会とは、学校、保護者、地域の皆さんが互いに知恵を出し合い、協働しながら子供たちの豊かな成長を支えていく「地域と共にある学校づくり」を進めて参ります。学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりするなどの取組が行われます。

これらの活動を通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができます。

今年度は、４回の活動を予定しております。今後も、この「学校運営協議会だより」を通して、活動の様子をお伝えしますので、よろしくお願いいたします。

○令和８年度学校運営協議会委員

委員長	堀　川　厚　志	星槎道都大学　特任教授
委　員	伊　東　和　徳	西部地区連合町内会　総務部長
〃	曽　我　圓　美	西部地区社会福祉委員会　会長
〃	仁　木　裕　香	西部地区生涯学習振興会　生涯学習推進アドバイザー
〃	小　柳　充　司	北広島市立西部中学校　教頭
〃	佐　藤　　肇	卒業生と父母の会　役員
〃	北　林　美　光	株式会社スタック北海道ブロック長　部長
〃	齋　藤　義　一	北海道白樺高等養護学校　PTA 会長
顧　問	山　﨑　淳　也	北海道白樺高等養護学校長

○事務局

事務局長	奈　良　吉　高	北海道白樺高等養護学校教頭
事務局員	鈴　木　貴　夫	北海道白樺高等養護学校主幹教諭
〃	岩　瀬　由　妃	北海道白樺高等養護学校教諭
〃	濱　谷　良　介	北海道白樺高等養護学校教諭
〃	仲　島　　朋	北海道白樺高等養護学校教諭
〃	小　嶋　早　恵	北海道白樺高等養護学校教諭

■第１回学校運営協議会

６月 15 日（月）に行いました。初めに委員の皆様に山﨑校長から、辞令をお伝えし、今年度の委員として委嘱をしました。メンバーの自己紹介後、議事については、堀川委員長より進めていただきました。

一つ目の議事は、校長より令和８年度グランドデザインについて説明し、『生活する力』、『働き続ける力』を中心に、主語（主体）を生徒に取り組む。重点課題として、『人権を尊重する言動の徹底』、『専門性（指導力・授業力）の向上』、『自立活動の実践』、『キャリア教育のさらなる充実』、『地域貢献・連携の拡充』などの説明があり、委員の承認を受けました。

二つ目の議事は、今年度のスケジュールについて教頭より説明しました。年間４回の熟議を行い、２グループに分けて進めること、販売会である「しらかば店」への参加を活動日とすること、学校見学を設定することなどを確認しました。

第１回	第２回		第３回	第４回
6月15日（月） 17:30~18:30	9月　日　（　） 10:30~12:00	12月10日（木） 10:30~12:00 （予定）	12月　日(　) 17:30~18:30	3月　日（　） 17:30~18:30
全体会 ・任命 ・グランドデザイン ・CSスケジュール ・部会	学校見学 全体会 グループ熟議	しらかば店見学 （自由）	・全体会20分 ・グループ熟議	全体会 ・活動実践 まとめ ・次年度学校経営 方針案の承認

熟議テーマは、「教育課程改善と地域課題研究」としました。昨年度からの課題と今年度の取組、地域課題研究のこれまでの取組について岩瀬教務主任より説明、紹介がありました。北広島市や輪厚の歴史や特徴、地理について、地域の方と直接対話をしたり、清掃活動をしながら地域を歩き、確認したりしています。



熟議では、教育課程について、「地域学習の内容が、学年進行でバージョンアップしている。」と評価いただきました。また、進路指導関係では、「丁寧に指導している。」「実習を数回重ねる中で、自分のことを理解することは大切である。」と評価いただきました。また、企業の方から、「本校の卒業生はタフでよく取り組んでいる。学校見学を従業員と共に行い、理解を深めていきたい。」というお言葉をいただきました。



地域課題研究の学習では、「地域の問題点を指摘いただき、大変助かっている。」特に、「輪厚三愛病院前の交差点の危険性について発信いただき、交通安全の旗を立てることができた。今年度まだ事故が起こっていない。」「地域の問題点を率直に発信いただき、大変ありがたい。大人が言えないことをはっきり言えるところがすばらしい。」など多くのお言葉をいただきました。

今後に向けて、「10 年前までは、学校が閉鎖的で交流が少なかったが、今は開放的でとても良い。」「学校間の交流がもっと増えると良い。普通校との交流が増えることで、双方の誤解がなくなり、相互理解が深まるのではないか。」「作業学習による交流などもできるとよいのではないか。」と貴重な御意見をいただきました。

■今後について

次回は９月に行います。引き続き、多くの御意見をいただき、実りある委員会を目指して準備していきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

（文責　教頭　奈　良　吉　高）